

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州まつもとこどもキャンプ
事業主体 (連絡先)	松本市 (松本市役所 こども部 こども育成課 TEL0263-34-3291)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,912,851円 (うち支援金1,557,000円)

事業内容

原発事故により避難を余儀なくされている福島県の小中学生の保養と、市民との交流を目的に、夏休みと冬休みにそれぞれキャンプを開催しました。夏は松本山雅からコーチを迎え、地元小学生と一緒にサッカーをしたり、魚つかみ取り体験をしました。冬はそば打ちをし、郷土食のとうじそばを味わったり、スキー体験を行いました。

地元小学生が歓迎会を企画したり、大勢の大学生ボランティアとも交流を図りました。



※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

放射能の影響等により自由に遊ぶことができない子どもたちにのびのびと過ごせる機会を提供できました。

地元子どもたちにも支えあう気持ちや絆を考える機会を提供できました。

子ども同士の交流も手紙のやりとりをするなど発展しています。

今回のキャンプには、指導者として大学生をはじめとする大勢の方々に参加いただき、今後の社会教育活動に資する人材の育成を図りました。

【目標・ねらい】

- 放射能の影響等を気にせず伸び伸びと過ごせる機会の提供
- 支えあう気持ちや絆を考える機会の提供
- 子ども同士の交流の発展
- 社会教育活動に資する人材の育成やボランティア意識の向上

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

今後の取り組み

子ども同士の交流の発展、人材の育成やボランティア意識の向上を図るため継続的に事業を実施していきます。

より多く子どもたちに参加していただけるような日程の調整、内容の充実、ボランティアスタッフの確保を図っていききたいと思います。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある